

池袋の路面電車と  
まちづくりの会 会報

第6号

発行/池袋の路面電車とまちづくりの会

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-22-1

電話03-3971-6111

<http://www.i-tram.com>

2008年10月

# iとらむ

「iとらむ」…「とらむ」は新型路面電車のこと。「i」はikebukuroに人と環境に優しい「愛=i」のあるまちづくりを願う、この会の理念を表しています。

## Contents ▶▶▶▶

## 目次

グランドビジョン2008とLRT計画…2.3

視察のご報告…4.5

シンポジウムのご報告…6

VOICE、Q&A…7

INFORMATION…8

まちづくり  
プラン

# Grand Vision 2008 とLRT計画

平成20年6月10日、豊島区は今後のまちづくりプランを「Grand Vision 2008」として大々的に発表しました。この中には当会がこの5年間取り組んできたLRTプランも中心的テーマとして盛り込まれています。今後池袋東口を中心としたまちづくりがどのように進んでいこうとしているのか、その概要をご説明します。



## 回遊線の特徴 Merit

回遊線には、単純な往復線に比べていくつかの非常に大きなメリットがあります。

まず一方通行の為に複線にする必要がなくなり、自動車交通との共存が容易となること、また、運転台が前方だけですむため、客席部分を大きくすることができ、最後部を広く取り、景観を楽しむことが可能になります。

計画の第1弾となる東口回遊線は、約2.1キロと少し短い路線ですが、沿線には劇場や図書館、サンシャインシティや商店街、映画街など繁華街の施設が密集していて、これらを効率よく回ることができ、便利です。

はじめてこの町に来る方も、外周をLRTが走っている為に道に迷うことを心配せずに自由に町歩きを楽しむことができることから、「安心して楽しくそして快適」、そんな池袋のイメージを一変させるような乗り物になると思います。

## 路線のバージョンアップ Version Up

当会では当初は、A(雑司ヶ谷ルート)、B(東池袋ルート)、C(サンシャインルート)の3本を路線の候補として考え(会報創刊号P6、第2号P2~3)、その後環5-1の整備が進むに伴い雑司ヶ谷ルートを優先的に考える(第3号P7、第4号P5)方向で進んできました。その後各方面からのご意見や利便性を追求して考慮した結果、サンシャインルートを発展させてぐるっと一周する回遊線に行き着きました。会の活動が幅広くなるにつれて、路線案もいろいろな検討がなされ、順次バージョンアップしていきます。

### LRT西口回遊線

立教大学

### 西口駅前広場の改修

駅前を40年ぶりに大改修します。歩行者空間を大きく取り、西口の窓口としてふさわしいゆたかりとした空間が出現します。

### 現庁舎跡地活用

現在の庁舎周辺には区有の施設(公会堂、区民センターなど)が隣接して建っています。中池袋公園も含めればその範囲は非常に広がります。それらをまとめて再開発すれば、駅から至近の距離に新たに賑わいを創出できる大きなエリアが新たに誕生することになります。

帝京平成大学

### 造幣局の開発とパークアンドライド

造幣局の敷地は、区と国とで協力して再開発を行う事になっています。例えば複合アミューズメント施設を作りその一角に大規模駐車場を設けLRTと一体的なシステムとしてのパークアンドライドの拠点とするなど、まちづくりと一体となった開発が望まれます。

### LRT東口回遊線

サンシャイン・シティ

あうるすぽっと・新中央図書館

### トランジットモール (歩行者優先ゾーン)

駅前には車の進入を制限し、歩行者優先の広場になります。車に遠慮しながら歩くのではなく、歩行者が主体のトランジットモールとして、人の賑わいが溢れかえる駅前空間を目指します。

補助81号線 都電敷の芝生化

### 東池袋新駅(仮称)

実は副都心線の池袋駅と雑司ヶ谷駅の間には、もう一つの駅ができる可能性が残されています。今後の需要予測次第では新たな駅がグリーン大通り下にできる可能性があります。Grand Vision 2008の通りに計画が進んでくれば駅の必要性は自ずと生じてくるので、駅の新設も想定しておいていい事柄かもしれません。

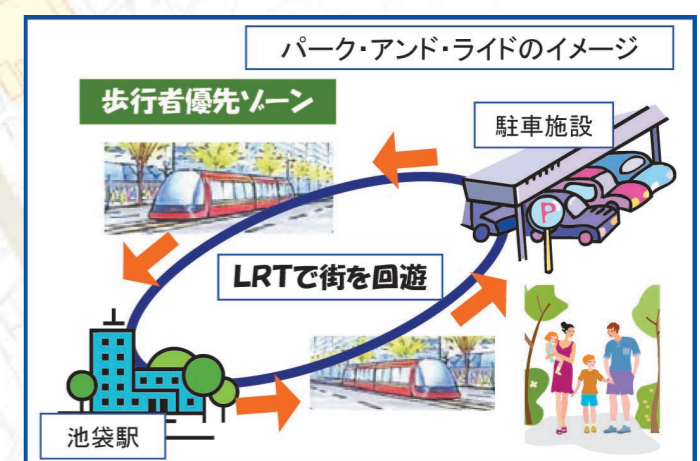
### LRT雑司ヶ谷回遊線

都電荒川線との連携

### 庁舎移転計画

長らくの懸案事項だった現庁舎の移転計画が一步進みました。区の発表によると「日の出小学校跡地への移転を優先案として検討する」という事のように、これが実現すると駅と庁舎とのアクセスとしてもまたLRTは欠かせないものになるでしょう。その先の都電雑司ヶ谷駅との結節も含め、ますます目が離せなくなります。

将来の車の流れを示します。池袋に用がない通過交通は駅を通らないルートでさばき、駅前空間を車から歩行者に開放するのがねらいです



視察報告

岡山「MOMO」&神戸「SWIMO」視察報告

東京初のLRT整備を  
実現しよう！

8月26日、本会の事務局4名を含む総勢46名の視察団一行は早朝より日帰りの行程で岡山・神戸へ出発しました。国内で進んでいる新型低床路面電車の動向を学ぶべく、国内LRT導入の先駆けとなった岡山電気軌道(株)のオリジナル車両「MOMO」と、昨年11月に発表された川崎重工(株)開発の架線のいない電池駆動車両「SWIMO」に実際に乗って、池袋がめざす東京初のLRT整備を考えることが目的です。

MOMO  
1  
視察ツアー

岡山

Okayama



岡山駅付近を走る「MOMO」視察の日には清輝橋線を往復していました

岡山の路面電車「MOMO」は、市民グループ「路面電車と都市の未来を考え

る会・岡山」(RACDA)から提案、活発な市民運動を経て市民募金の寄付を加えて独自のデザインで製作され、2002年7月に国内初の低床式車両として運行を開始しました。明治45年から市内を走る路面電車のうち現在残る東山線(3km)と清輝橋線(2.1km)で走行し、両線は運輸観光を中心とする両備グループ(企業56社、従業員6800名超)内の岡山電気軌道(株)が運営しています。高谷茂男・岡山市長、市交通政策課長を高野区長、吉村区議会議長、足立区商連会長(本会会長代理)ら視察団代表が表敬訪問した後、本社で説明を受けました。

「MOMO」の走る東山線は平日で5〜10分間隔189本、清輝橋線は10〜



池袋では事業母体をどうするか、も今後の重要検討事項の一つです

15分間隔94本の運行で駅前から県庁や市民ホール、西大寺町の商業地を結び、



段差のない乗降口はこれからの交通手段では前提条件になるでしょう

大学もある住宅地を終点としています。年間利用者は360万人で1日平均にす



参加者名簿

(総勢46名、順不同、敬称略)

○豊島区、豊島区議会

団体名等	氏名
豊島区長	高野 之夫
豊島区議会議長	吉村 辰明
豊島区議会副議長	中島 義春
自由民主党豊島区議団	竹下 ひろみ
	磯 一昭
	河原 弘明
	村上 宇一
	小峰 博
民主・区民豊島区議団	遠竹 よしこ
	水谷 泉
	小林 俊史
公明党豊島区議団	藤本 きんじ
	山口 菊子
	木下 広
刷新の会	古坊 知生

○豊島区職員

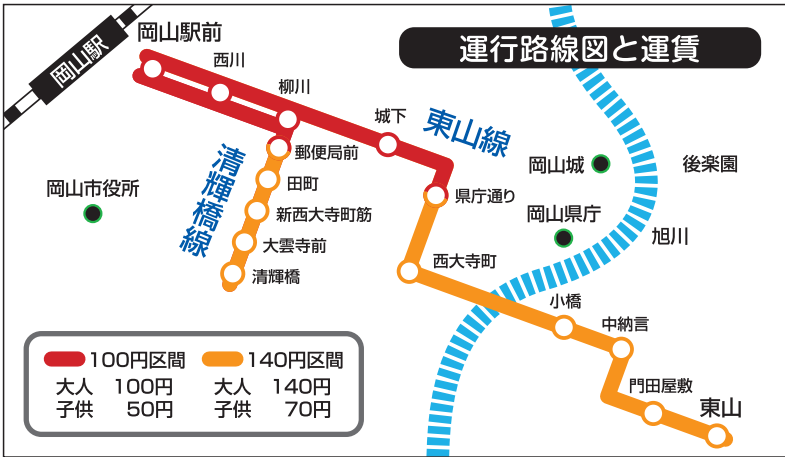
団体名等	氏名
都市整備部長	増田 良勝
清掃環境部長	齋藤 賢司
政策経営部企画課長	齋藤 雅人
都市整備部都市計画課長	鮎川 傑
清掃環境部環境課長	常松 洋介
政策経営部秘書課長	藤田 力

○地域団体、民間団体

団体名等	氏名
東京商工会議所豊島支部	副会長 鈴木 正美
同	建設分科会長 椎名 哲哉
豊島区商店街連合会	会長 足立 勲
豊島区観光協会	会長 齋木 勝好
同	副会長 森 弘治
同	副会長 平井 憲太郎
池袋東口美観商店会	会長 服部 洋司
東京商工会議所豊島支部建設分科会	副会長 佐藤 智重
南池袋二丁目地区市街地再開発準備組合	副理事長 増崎 正一
NPO法人セファール池袋まちづくり	副理事長 石森 宏
豊島ケーブルネットワーク株式会社	社長 星 京子
株式会社アムラックストヨタ	東京総務室室長代理 佐藤 広道
株式会社池袋ショッピングパーク	社長 佐野 豊
同	総務部長 村上 徹
株式会社サンシャインシティ	業務室長 宮下 昌久
株式会社西武百貨店	総務部長 櫻本 潔
株式会社パルコ池袋店	店次長 川田 貴也
株式会社ピックカメラ	取締役CSR担当 加藤 周二
株式会社富士書	社長 吉田 茂
株式会社三越池袋店	池袋店長 杉山 潤治
株式会社ライトレール	取締役経営企画部長 河村 良一

○池袋の路面電車とまちづくりの会

団体名等	氏名
池袋の路面電車とまちづくりの会	高村 光朗
	富沢 弘治
	溝口 禎三
	大塚 謙太郎



ると1万人になりますが、運賃を従来の140円均一から最近になって100円区間を導入したため、5000万程度減収となってしまい、運賃収入だけでは、従業員46名と「MOMO」1両を含む21両の車両メンテナンスを加えた経費を賄うには少し足りていないとのこと。

それを補うのは「MOMO」のロゴを使ったオリジナルグッズの企画販売と車両の側面を使った企業広告費（ただし車両のデザインを大切にするため「MOMO」以外の車両にしている）での収入を見込んでいるということでした。

名勝・後楽園の横で食事し、園内に寄る暇もなくバスで一路、神戸へ。川崎重工業の神戸播磨工場内にある「SWIM O」実験線に試乗です。架線レス・蓄電

## SWIMO 2 視察ツアー

# 神戸

Kobe

そもそも、「MOMO」の車両設計は導入企画当時から市民グループの意向で地元出身のデザイナー水戸岡鋭治氏のコンセプトで製作されています。ドイツで開発されたボディ、インテリアは天然木材を使った日本の熟練職人の加工によっています。景観を大切にする外観と快適性重視の内装、名産の桃MOMOと変えて楽しさをアピールした岡山市民のメッセージとなっています。

この夏は市民グループの協力を得て貸切の「ビール電車」「コンサート電車」を走らせるなど新企画にも意欲的に取り組んでいらつしやいました。

清輝橋駅まで案内してもらい、車道と電停、乗り口の構造などを見学して乗車しました。実際に車両内のさまざまな工夫と快適さを実感しながら終点の駅前に到着です。また、この時の運転手さんは20代の若い女性でした。運転手の前職は事務や営業だそうで運輸局の発行する特別免許を取得しているとのこと。平均年収は我々の想定額の半分以下と聞き勇氣と希望を感じました。



工場内なので全員ヘルメットをかぶっての試乗でした

の電池駆動車両はこれまで例がなく発表以来、多くの都市から問い合わせが相次いでいる実験車両です。昨年12月から今年3月までは、札幌市の市電の編成に加わって冬季運行試験を行いました。現在はこの工場内のみ走行しています。

工場到着後すぐに試乗。実験車両のため外装・内装は汎用性を持たせている段階ですが、乗り心地の向上に加えて、パタグラフのつかない車両の姿はすっきりとしていて高密度な都市・池袋の景観にマッチすること、またそれ以上に新設の池袋LRT回遊線を想定した場合でも架線が不要なので建設時の負担が少ないことが容易に想像できました。

電池駆動の「SWIMO」の特徴は、急速充電の大型ニッケル水素電池「ギガセル」の開発にあります。10kmを1時間



池袋を走るLRTはどのような外観にするのかも楽しみです (SWIMOは実験車両なので外装デザインには重点を置かれていません)

間弱で走った後の充電時間はわずか3分。電停での待ち時間内で完全回復できることは設備の環境コストも大幅に下げることが可能となり、また、低床の客室床面積も大幅に広げることができるとのことでした。

今回視察した岡山市の車両デザインと運営の工夫、川崎重工業の新開発技術もその一つとして、世界のLRT事情も技術面から変わっていくことが予想されます。

池袋が新時代のLRTシステムを導入できるためのたいへん良い刺激を受けました。

講演

元東京都副知事  
青山 侑(やすし)氏

# 今、なぜ池袋にLRTか



お話は、6種類のLRT導入パターンの説明から始まりました。その中で、「中心市街地短距離交通」「交通不便地域改善」「広域ネットワーク補完」の

## 池袋LRTの導入価値

3点から、池袋LRTは導入の価値が高いとお話でした。我々事務局は、シンポジウムの事前青山さんの事務所にお邪魔し、「東京でLRTの構想がいくつもあるが、以前から池袋を最も優先すべきと考えていた」と言われ、勇気付けられていました。

続いて、LRTを含む世界の公共交通を紹介され、東京は公共交通が非常に充実している、そのために大阪・名古屋とともに日本の大都市圏は世界の他都市と比べて鉄道の利用率がきわめて高い、とお話は続きました。

## ロンドンオリンピック

次は、「2012年オリンピックロンドン」はなぜパリに逆転勝ちできたのかのお話でした。自動車の都心部への流入に対して渋滞税を課して抑制する等、環境を重視した施策が功を奏したとのことでした。

## 青山 侑 あおやま やすし

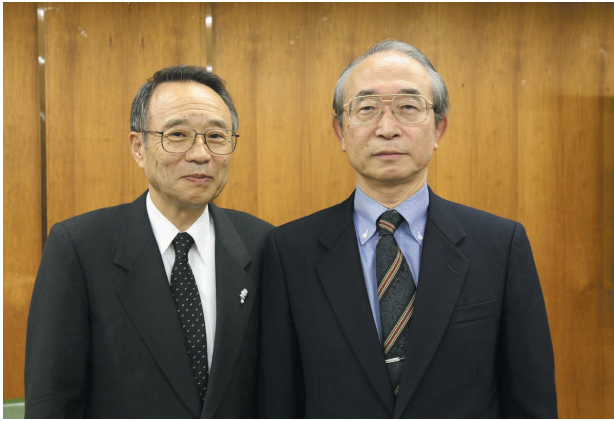
ペンネーム:郷 仙太郎(ごう せんたろう) 昭和18年(1943)生まれ。昭和42年(1967)東京都庁経済局に入る。中央市場・目黒区・政策室・衛生局・都立短大・都市計画局・生活文化局等を経て、高齢福祉部長、計画部長、政策報道室理事等を歴任。平成11年(1999)から15年(2003)まで石原慎太郎知事のもとで東京都副知事(危機管理、防災、都市構造、財政等を担当)。

平成19年11月、「池袋の路面電車とまちづくりの会」特別顧問に就任  
【専門】自治体政策・都市政策・危機管理・日本史人物伝

た。自転車を載せられる列車の紹介もありました。

## 20世紀から21世紀へ

最後のまとめは、20世紀都市のキーワードは「効率性」だったのに対し、21世紀都市のキーワードは「快適性」だのお話でした。反面教師として海外のハイウェイの大渋滞の様子が紹介され、これからの時代のお手本として、韓国ソウル市において都心部の高架道路を撤去しその下の清溪川(チョンゲチョン)を復元した事業や、コンパクトシティの考え方が紹介されました。全体的に、世界の時代潮流をとらまえ、環境を大切にすべきこれからの時代における交通のあり方を考えるヒントにあふれ、池袋LRTの実現に向けたエールを受けられました。



池袋LRT計画の両輪(高野区長(左)と青山当会特別顧問(右))



20世紀の反面教師:ハイウェイの大渋滞(上)ロンドンに導入された監視カメラ(右)と渋滞税の標識(左)

## Voice ▶▶▶▶▶

## 小池 百合子さん

衆議院議員

洞爺湖サミットを終えて、世界の国々は地球温暖化対策を充実させています。

日本も環境先進国として、京都議定書で定められた目標の達成を牽引して行かなければなりません。

そういった流れの中で環境への取り組みは私たちの地域にとっても身近な課題となっていると言えるのではないのでしょうか。より、環境にやさしいまちづくりへの転換が求められているのです。

池袋におけるLRTの整備も、そうした目的にぴったりかなうプロジェクトであるといえるでしょう。

アメリカやヨーロッパ諸国などでは地域に密着した公共交通システムとしてすでに定評のあるLRTは環境に負荷の少ない乗り物であるとして、近年我が国でも評価が高まっています。

また、バッテリーの高性能化や架線を必要としない充電式車両の開発が進むなど、進歩も目覚ましく大きな発展の可能性も見られます。

このようなLRTが池袋を走る事は、たんに私たちの街の活性化へとつながるだけにとどまるわけではありません。その影響は豊島、そして日本全体へと波及して行くでしょう。環境先進都市“としま”その中心である池袋の街を、このLRTが走る将来の姿を私はとても楽しみにしています。



## 湯川 れい子さん

音楽評論・作詞

たとえば水素電池で走る小型の電気自動車も、CO<sub>2</sub>を出さないという点では、環境的に好ましいと思いますけれど、交通量の多さでは問題が残ります。

その点、路面電車のLRTならば、自分で運転できないお年寄りや小さな子どもにとっても嬉しい交通機関ですし、季節ごとのお色直しや花模様、ピカチュウとかドラエモンなどのキャラクターを描いた物もあれば、一台ごとに派手な広告を受け付けるのも収入になりそうです。

アイデア次第で、走る劇場からカフェ・バーまで、考えるだけで未来がパッと明るくなりますよね。



## 宮嶋 宏幸さん

株式会社ビックカメラ 代表取締役社長

池袋で産声を上げましたビックカメラは今年で創業30年を迎え、北海道から九州まで27店舗を出店し、都市型の専門店の集合体として発展を続けております。これも地元の皆様に育てていただいたお陰と感謝しております。今回のLRTの事業実現にはいろいろ乗り越えなければならぬ課題も多いと伺っておりますが、一つ一つのハードルを乗り越えていくことが池袋の発展のエネルギーに繋がっていくと思います。西口駅前ロータリー改修と併せて池袋が一層魅力ある街に発展していくことを期待しています。



## Q&amp;A ▶▶▶▶▶



いろいろなところでコミュニティバスが導入されたニュースは聞きますが、それが大成功を収めているということは、残念ながらありません。

LRTはコミュニティバスに比べて、交通機関としての定時性に優れ、発着時の円滑性や走行時の安定性という快適さがあり、軌道運行という安心感もあります。また、欧米ではLRT導入によるまちづくりの成功事例が相次いで報告されています。

LRTの設置は国もこれを積極的に進めていることもあり、概算事業費のうち3分の2程度の補助金が出るようですし、年間の経費にしても一日平均4600人の乗客があれば、その収入だけで、ペイすると見込まれています。

本格的な高齢化社会に向かう時、池袋という大きなターミナルを持つ街は来街者により良いものを提供してゆく義務があるはずですし、また、その力もあるはずなんです。

**LRTに比べてコミュニティバスのほうがそれほどお金もかからずに導入できると思います。なぜLRTでなければならないのですか？**



本日、休演の巻

作：逢井孝登 来夢

「隠居」LRTの視察へ行ったんだってな」

若旦那「岡山のMOMOと、川崎重工業播磨工場です」

「隠居」土産のきびだんご塩味団子は、どこにあるんだ」

若旦那「えーっと……」

「隠居」そういうことか。わかった。もう今日は話は無いから……」

というわけで、今回の寄席は休演となりました。次回「隠居の機嫌の良さとき」。

# INFORMATION

活動  
報告

平成19年9月～

9月22日

●第2回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会in京都」に参加  
京都の同志社大学で行われました。(第1回は平成17年に宇都宮で開催)

11月1日

●第5回総会・親睦会、第7回シンポジウム開催(本誌6ページ)  
総会にて4期の事業報告と決算、5期の事業計画と予算案が承認されました。(写真上)

11月5日

●豊島区自民党区議団との意見交換会(第3回)  
区議が多数出席の中、「池袋LRT整備構想策定」に向けて意見交換を行いました。

11月16日

●小池百合子代議士との意見交換会(写真下)  
豊島区選出の衆議院議員小池氏とLRTについての具体的な意見交換会を行いました。  
元環境大臣ということもあり、環境にも優しいLRTには大変興味をお持ちです。強い味方です。



平成  
19年

5月18日

●臨時役員会開催  
路線案の拡張(回遊線)と豊島区の環境モデル都市プランへの応募の件などが討議され承認されました。

5月

●内閣官房の「環境モデル都市」応募にLRT計画が盛り込まれました(本誌2～3ページ)  
内閣官房の提案募集に豊島区が応募し、LRTに関する部分では当会の意見が大きく取り入れられました。  
結果は残念ながら選外となりましたが、この構想は「グランドビジョン2008」としてそのまま引き継がれることになりました。

6月10日

●豊島区の「グランドビジョン2008」発表記者会見(本誌2～3ページ)  
当会からも代表者が出席し、会の方針とまちづくりへの思いを発表しました。

6月14日

●東京メトロ「副都心線」開業(当会の活動ではありませんが)  
池袋が通過駅になってしまう、という心配の声もありますが、大きなチャンスとも考えられます。  
これから池袋の街の魅力をいかに創り出せるかにかかっています!

7月2日

●国土交通省の「エコまちづくり事業」に認定されました  
豊島区(池袋駅周辺地区)のプランは国土交通省からは事業予算がおりにるようになりました。  
「高密都市から発信する低炭素社会実現への挑戦」を標榜し、「東京初のLRT導入とパーク・アンド・ライドで歩行者優先のまちへ」が明示されており、今後の会の活動にも弾みが付きます!

8月26日

●当会主催「岡山、神戸視察」を実施しました(本誌4～5ページ)  
旅行費用は参加者各自負担でしたが、団体行動中のバス代のみは当会で負担しました。非常に有意義な視察でした。

※この他にもテレビ番組の取材や、新聞での紹介などもありましたが、紙面の都合上割愛しました。

平成  
20年

## 入会方法・年会費

### 会員募集

- 1.個人会員(個人のご入会の場合) 年会費3,000円
- 2.法人・団体会員(会社・学校・病院・町会・商店会・任意団体などご入会の場合) 年会費10,000円  
また別途、賛助会員もお受けしております。  
年会費 一口10,000円(一口以上からお受けしております。)  
別紙申込書にご記入の上、下記にファクシミリ、または郵便でお送りください。

### お問い合わせ

(財)としま未来文化財団  
未来文化課タウンデザインセッション  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-20-10  
担当:武田、井上  
TEL:03-3981-4732 FAX:03-5992-6099  
「池袋の路面電車とまちづくりの会」事務局  
担当:高村 TEL:03-3971-6111  
e-mail:go-go@i-tram.com  
ホームページもご覧下さい <http://www.i-tram.com>

### 編集後記

副都心線の開通、区庁舎移転と、まちが変化のときを迎える中、グランドビジョン2008が発表された。「まちは、人が創るもの。人のレベルがまちのレベル」とは言いすぎであろうか。池袋は、誰に「副都心です」と訴えているのだろうか? それは来街者、外へのメッセージである。「ココに生まれ育った私は「なぜ、この街は他の繁華街から頭ひとつ抜け出せないのか」と思っことがある。モノやサービスを提供するとき、一流の創造者は良さをそのものを組み合わせて提供し、成功する。そしてその成功が永いヒットとして根付くにはスタートが大切。そのヒットは、一流の人々の口コミによって広がり、一般人に文化として定着する。路面電車には、否定意見も多く聞かれる。新しい事業を興すとき、大多数が賛成の事業は失敗し、反対意見が存在する方が成功する。そういった意味でも路面電車は、良い前進をしている。5年過ぎたこの活動を通して決意したことは、「これなら賛成多数になる」という妥協をしまし、将来の豊島区のためのまちづくりを後退させてはならないこと。所謂「無難」なワナにはまっけてはいけないということである。(記:逢中亭登来夢)